

# 報寺寺覺敬

12月号



月刊●敬覺寺報

〒177-0032 東京都練馬区谷原6-8-12  
TEL 03(3996)1833 大江義宏

親鸞聖人鏡御影 かがみのごえい



聖人のお姿があたかも鏡にうつしたように描かれていたところからこの名がある。聖人の生前に肖像画家専阿弥陀仏が描いたもの。

和朝親鸞聖人真影  
憶念弥陀仏本願  
自然即時入必定  
唯能常称如来号  
応報大悲弘誓恩

# 私と浄土真宗

ハワイ別院輪番

川路 広美



今年も早十二月となりました。皆様方毎日如何お過ごしでございましょうか。今年の一月号より「私と浄土真宗」と題して書かせていただきましたが、その最終回の十二月号を書き始めました今、私は、このもったいない御縁を与えてくださいました皆様方の事をいろいろとハワイより遠察致して感無量でございませぬ。ここに心から厚く感謝御礼申し上げます。

毎年の事ながら、年末年始は、人間の願いや希望や感謝の思いから生みだされた催し事で賑わいます。そしてそのような行事には深く宗教が係わっています。特に最近では宗教の数も多くなり、それに伴った宣伝や商売も盛んで、一般の人々は各宗教の相違を知るのに大変苦労しておられるのではないでしようか。

幸にして浄土真宗のみ教えに導かれて日暮らしさせていただく身には、自分の欲の数々を並べて祈禱する必要がありませんから気軽であります。人間の祈願祈禱に効力があるとすれば、大変恐ろしい事ですが、人間は自分自身の事さえ何一つ思うようにならない存在で、その祈りに期待などできません。

二千一年度の正月は、新世紀の門出として、平和や福祉や共存共栄を願ったいわゆる祈願祈禱の中で迎えられるべきですが、世界的に悲劇が広がり、苦しみと不安に追いやられた年であった事は今更説明するまでもありません。しかもその裏で神に誓った使命感とか、聖戦というような言葉が使用される事の危険は計り知れませぬ。不幸の極みであります。

親鸞聖人は、正像末和讃のはじめに「弥陀の本願信ずべし。本願信するひとはみな。撰取不捨の利益にて。无上覚をばさとるなり」と述べておられます。浄土真宗のみ教えは、本願を信じ仏にならせていただく教えであります。そして日常生活では、現世祈禱等行わず、また迷信に頼る事のない明るいお念仏の生活をさせていただくのです。誠に恭けない事ではありません。

時の流れは一時も人間の都合を待つてはくれませぬ。従って激しい世の移り変わりの中で、私が直面します不安と苦悩と悲しみに応え、孤独を支え、甘えを許さず、真実の安らぎと喜びに導き続けてくださる教えは浄土真宗の外にございませぬ。親鸞聖人を尊敬し、信頼申し上げ、浄土真宗に帰依させていただけた身を本当に有難く思い、心の底から感謝致しております。お念仏の日暮らしは正しく無碍の道であります。

今私は胸の中に一つの希望の明かりを宿しています。それは私の願いでもあります。その願いとは「何時か、どこかで、皆様に、是非めぐり遇いたい」という事です。ハワイでだめだったら日本で、今年だめだったら来年にはきつと、若しこの世でだめでしたらお浄土で……。私は、たった一度の人の世で、すばらしい寺報の紙面で、同信の喜びで結ばれました皆様との御縁を心の宝として二千一年度の年末を飾らせていただきます事を感涙の念いで感謝致しております。本当に有難うございました。



鏡の御影(国宝)

平成十三年度も最終の月となりました。経子さんと住職さんの門徒もの知り問答、本年は本願寺の寺室を中心にお話しいただきました。来年も宜しくお願いいたします。

経子・住職

経子◇こんにちは住職さん。今年最後の月になりましたね。

住職◇やあ経子さん、こんにちは。

経子◇この前、お寺の報恩講法要にお参りしましたが、京都の本願寺の報恩講は来月一月なのですね。

住職◇はいそうですね。親鸞聖人のご命日が御正忌です。

経子◇聖人のご命日は一月ですか。

住職◇旧暦では十一月二十八日、新暦に直すと一月十六日に当たるので、ご本山では一月十日から十六日まで七日間を「親鸞聖人御正忌報恩

講」として勤めます。一般寺院の報恩講はご本山より前に行うのです。

経子◇なぜ同じ日にならないのですか。おかしいわ。

住職◇各家庭や寺で「お取り越し報恩講」を済ませてからご本山にお参りをする。昔からの慣わしですよ。

経子◇そうですね。日が別ならば両方お参りできますね。

住職◇親鸞聖人の肖像画を拝見しましょう。本願寺に伝わる

「鏡の御影」です。

経子◇わあ、襟巻きをしているから冬に描かれたのですね。すぐ近くにおられる存在感があります。

住職◇なるほど、面白い見方だね。

鎌倉初期の肖像画で、国宝に指定されていますよ。

経子◇誰が描いたのですか。

住職◇似せ絵(肖像画)でも名高藤原隆信の孫、専阿弥陀

仏が描き、鏡に映したよう  
で「鏡の御影」と呼ばれて  
います。

経子◇お顔は詳しく丁寧で、下は  
デッサン風、対照的ですね。

住職◇生前の面影が偲ばれる寿像  
で、聖人の優しく強い個性  
がよくわかる。

経子◇寿像というときで  
すか。

住職◇喜寿なら七十七、傘寿だと  
八十歳。その頃だろうね。

経子◇表情もすてきなおじいさん  
と言っては失礼かしら。

住職◇この太く濃い眉毛は特徴あ  
って、人類学者は親鸞眉毛  
と呼んでいるそうだよ。坐  
像の肖像画が多いけれど、  
立っている姿は珍しいね。  
年を召しても毅然と前を見  
つめ、しつかりと大地を踏  
まえた親鸞聖人の風格がに  
じみ出てくるね。

# 蓮通信

## ■除夜会、修正会

十二月三十一日、一般には「大晦日」と申します。浄土真宗では三十一日の一年の最後の日の法要を「除夜会」（じょやえ）と申します。歳末勤行とも申しますが、一年の無事を感じ、又、ふりかえって反省をいたす意味があります。又、通例は引き続き一月一日の元旦会（がんだんえ）となります。修正会（しゆしやうえ）とも申します。年の始めに思いを新たに、過ちをあらため正しきを修めるということから修正会と申します。ご家族揃ってお参りいたしましょう。なお、築地別院では除夜の鐘を聞くことが出来ます。

## ■寺報、平成十四年のお知らせ

やさしい法話は十三年に引き続き浄土真宗ハワイ別院輪番の川路広美先生に、「ハワイ開教・その感動」と題して、ご法話をいただきます。

「門徒もの知り問答」は続きます。

「浄土真宗ゆかりのお寺」に代わって「お仏具を考える」を一年間一緒に考えてみましょう。

「日常に使う仏教語」が始まります。

平成十四年度も引き続き寺報をご愛読くださいませ。又、本年度のご愛読、深く感謝申し上げます。

住職 合掌

## 浄土真宗ゆかりのお寺

### ■遍照山 錦織寺

真宗木辺派（きべは）本山。

一二三五年、関東から京都へ帰る途上の親鸞聖人がこの地に立ち寄られ、「教行信証」を完成させたといわれています。以来多くの門信徒を集め木辺派が形成されてきました。

その後蓮如上人の時代には本願寺派に属しましたが、織田信長の石山本願寺攻撃などを経て、勢力は衰えていきました。一六九四年（元禄七年）には火災によって、諸堂や親鸞聖人ゆかりの寺宝が焼失しました。一七〇二年、徳川五代将軍綱吉の母、桂昌院の帰依を受け、諸堂が再建され現在に至っています。滋賀県の静かな田園地帯の中、整然と建ち並ぶ諸堂は落ち着いたたたたずまいを見せています。

交通・JR野州駅よりバス、木部下車

住所・滋賀県野州郡中主町木部

## 平成十四年 年回表

ご法事は早めにお寺の都合を聞いてからお決め下さい。

一周忌	平成十三年歿
三回忌	平成十二年歿
七回忌	平成八年歿
十三回忌	平成二年歿
十七回忌	昭和六十一年歿
二十三回忌	昭和五十五年歿
二十七回忌	昭和五十一年歿
三十三回忌	昭和四十五年歿
三十七回忌	昭和四十一年歿
五十回忌	昭和二十八年歿
百回忌	明治三十六年歿